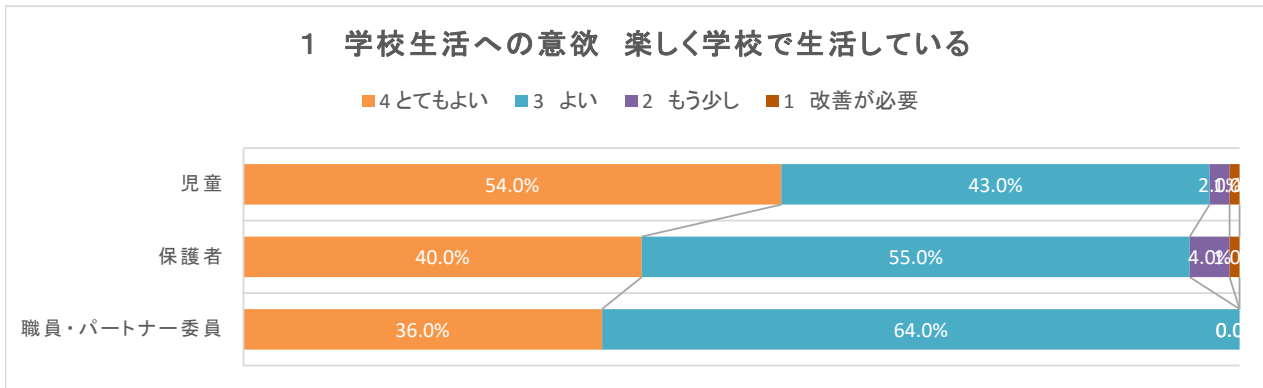


# 令和3年度 学校評価アンケート集計結果

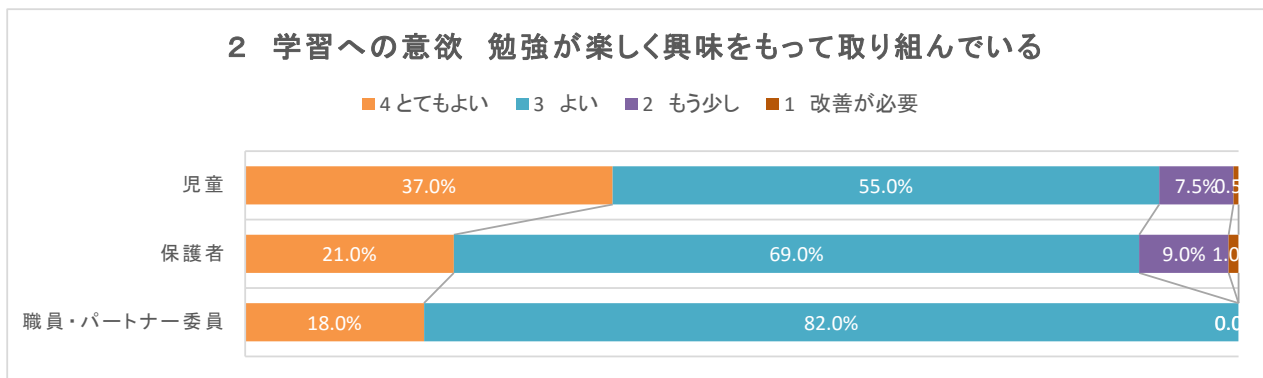
習志野市立秋津小学校

## 1 集計結果(在籍:令和3年12月1日 235人)

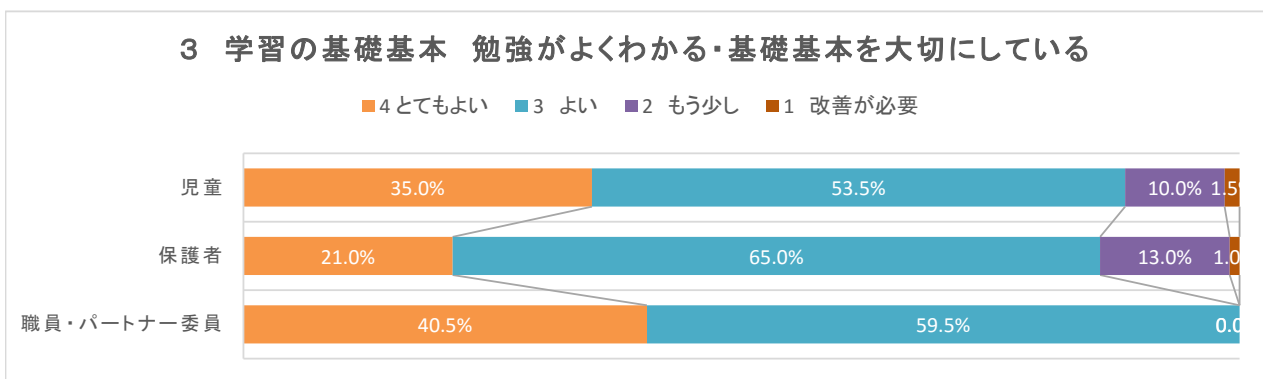
回答数 【児童】206人 【保護者】185人 【教職員・地域】32人



【考察】昨年度「4」と回答した児童より今年度は5.9%上昇した。コロナ禍であるが学校生活の楽しさを実感していると思われる。「2」「1」と回答した児童の支援を継続的に行う。



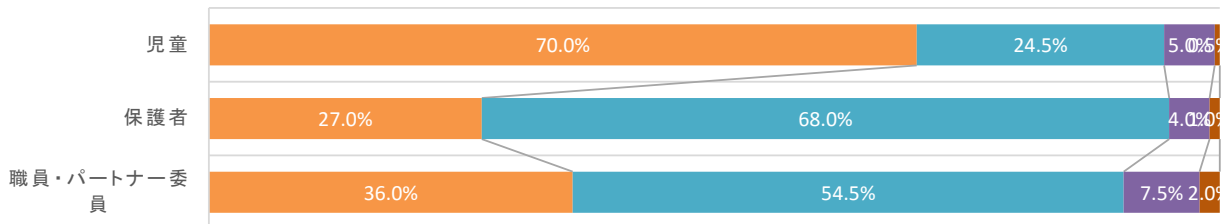
【考察】昨年度より「4」、「3」の回答が児童、保護者ともに上昇した。様々な制限がある中、子供たちは意欲的に学習に取り組んでいる。今後も児童が意欲的に学べるような授業改善をしていく。



【考察】児童、保護者ともに、「4」「3」の回答は同傾向だが、「4」の回答が減少している。ICT機器を効果的に活用するなどし、基礎基本の定着を図っていく。

#### 4 体験活動・学習 体験活動などを取り入れている

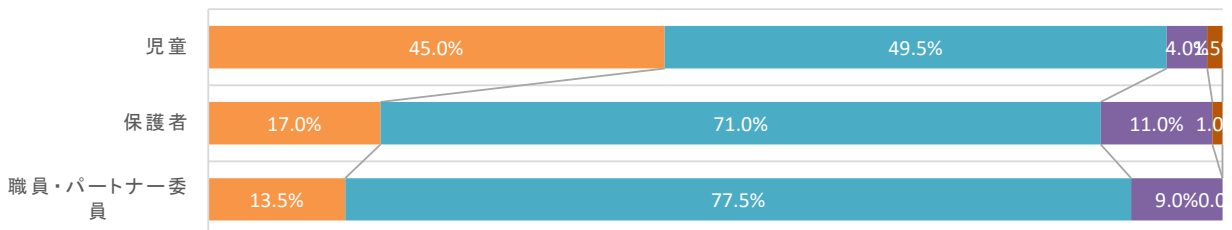
■ 4とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】コロナ禍で体験活動に制限や緊急事態宣言発令等で急な変更もあり、「4」の回答が減少した。次年度も感染症対策を講じながら少しでも多く体験活動や学習を取り入れていきたい。

#### 5 話す・聞く学習 話し合い活動を通して考える楽しさを実感する

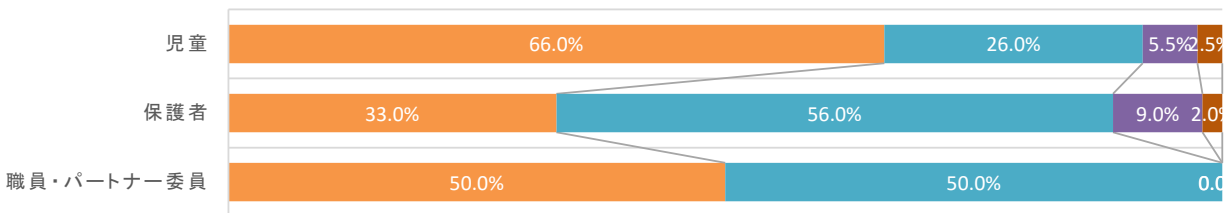
■ 4とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】「4」「3」の回答では児童は上昇したが、保護者、職員・パートナー委員は減少した。子供は楽しさを実感しているが、周囲の大人はもっとできることがあると感じていることがうかがえる。

#### 6 運動習慣 外遊び・マラソン・体育等など取り組んでいる

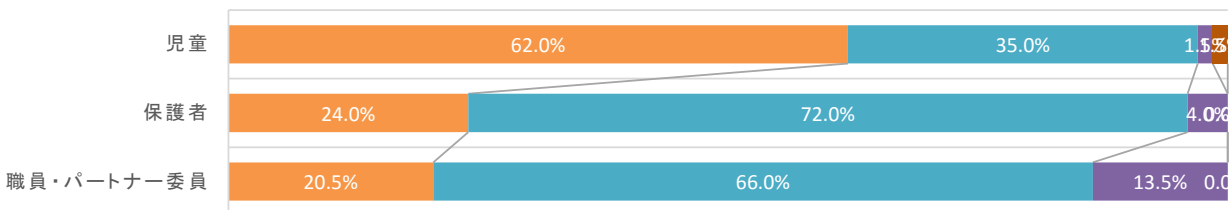
■ 4とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



【考察】児童の「4」、「3」の数値が上昇している。マラソンは実施できない日が多かったが、校庭が広く、休み時間や体育を行う上での制限が少なく、体を動かせる環境であるからだと思われる。

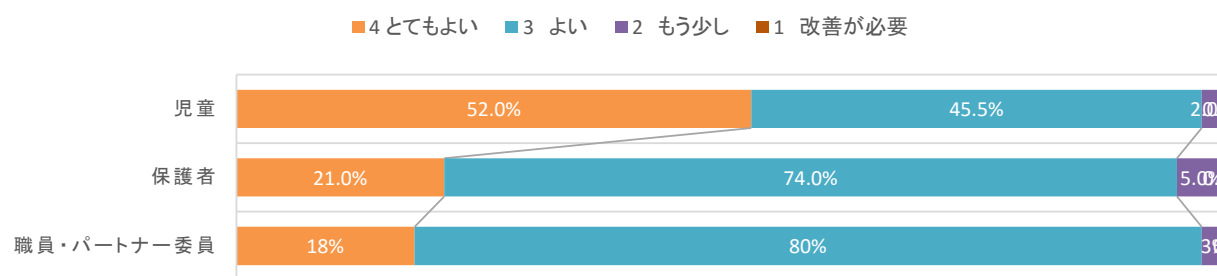
#### 7 対人関係 友達や他の人の気持ちを考えることができる

■ 4とてもよい ■ 3 よい ■ 2 もう少し ■ 1 改善が必要



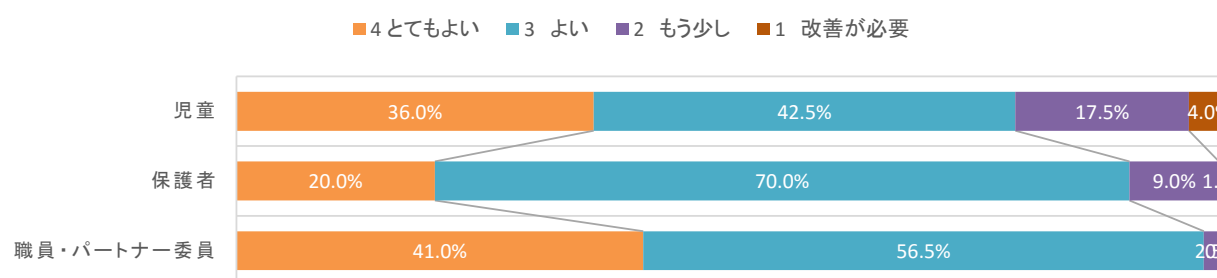
【考察】「4」「3」の児童の数値は昨年度より上昇しているが、職員・パートナー委員は減少している。周囲の大人よりも、子供たち同士の友達関係は良好と思われる。

## 8 規範意識 きまりやマナーを守って生活している



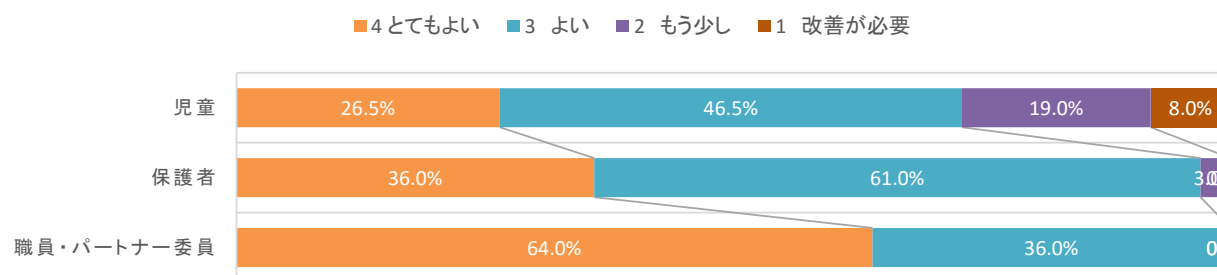
【考察】全体的に「4」「3」の回答が減少傾向である。児童に日常生活の中のきまりやマナーについて意識させていくとともに、道徳科や学校生活の中で規範意識を育てていく必要がある。

## 9 学校からの情報発信（児童：家の人に学校のことを話している）



【考察】全体的に「4」「3」の回答が増加傾向である。感染症の不安もある中、ICT機器を有効活用し、今後も情報発信に努めていく。

## 10 地域との融合 児童：地域やボランティアの方と話をしたり聞いたりしている



【考察】これまで行われていた地域との交流を見合わせたものが多く、児童の「4」「3」の回答が減少している。学校と地域とのつながりを子供たちが実感できるような指導の工夫が必要である。

## 2 自由記述(抜粋)〇感想等 ▲要望, 改善点等

### (1) 学校運営について

#### ① 保護者記述

- ▲ 連絡メールを頻繁にいただきありがたいがメールからPDFが見られず、タブレットを開かなくてはならないのが煩わしく時間がかかる。PDFのURLをメールに添付してほしい。
- ▲ 配布物が紙だったりタブレットだったりホームページだったり複数あってわかりづらい。スマホで見られるようにしてほしい。(複数)
- ▲ 健康のために、コロナ禍でも活動量を増やす取り組みが増えるとありがたい。
- ▲ タブレットが毎日持ち帰りになり、家でゲームをしたりやYouTubeを見たりしている。持ち帰る回数を減らしてほしい。

#### ② パートナー会議でのご意見

- コロナ禍で今まで通りの活動ができない中、先生方が子供たちのためにできることを模索し努力している。
- コロナ禍で大変な状況だが、子供たちの成長のためという観点からの積極的な学校運営を期待する。
- コロナ禍は色々な活動が制限があり、よりよい活動ができるよう協力と見守りをしていく。

③ 次年度に向けて

- ・ タブレット端末は学びを止めないツールとして、鉛筆やノートと同様に文房具のように毎日持ち帰り活用していく。学校でも今年度の児童の使用状況から、タブレット端末の使用のしかたのルールについて検討し
- ・ 現状の連絡メールでは、添付ファイルが付けられない。今後、連絡メールのシステムの変更がある予定。改善していく予定である。

(2) 学習指導について

① 保護者記述

- 先生方はとても丁寧に指導してくれ大変ありがたいと思っている。熱心な指導で子供が変わってきている。
- 授業が黒板や教科書に向かい合うものだけでなく、とても魅力的だ。
- 学力向上のための取組がなされていないと思う。毎日の積み重ねが大切である。講師の担任が続き、長い目で見てくれる先生がいなくなった。
- ▲ タブレットの使用方法、頻度が同じ学年でもクラスによって差が出ているので統一する方向で調整してほしい。

② パートナー会議でのご意見

③ 次年度に向けて

- ・ タブレット端末の活用が始まり、御家庭においても協力をいただき感謝している。
- ・ 子供たちの学びを止めないためにオンライン授業が始まった。子供たちの学力向上のためにオンライン授業も含め研究していく。

(3) 児童の様子について

① 保護者記述

- 毎日楽しそうに通っている。コロナ禍の中、工夫して授業を行っていて感謝している。(複数)
- 毎日元気に楽しく登校している。クラスでの出来事を楽しそうに話してくれるので、学校生活が充実していると感じる。(複数)
- いつも楽しく通っている。友達とのトラブルなども先生を信頼して相談し解決してくれ助かっている。
- 担任のおかげで学校に対しての行きづらい気持ちも軽くなり、登校を拒否することが無くなった。勉強をわかりやすく教えてくれる。相談しやすい環境でもあり感謝している。
- 子供の個性と心の成長のスピードに寄り添ってくれ感謝している。
- 本人に問題があるので、学校に行きたくないと毎日言っているが、放課後は友達と約束をして楽しそうに帰ってくるので見守っている。
- コロナの感染対策をしながらの教育活動は大変だと承知だが、子供の笑顔、やる気は減った気がする。
- ▲ 一年生なので、きめ細かい指導をしてほしい。

② パートナー会議でのご意見

- 毎朝、「おはようございます」「行ってきます」ときちんと挨拶してくれる。はつらつ生き生きとした登校姿が頼もしい。子供たちの日々の成長が楽しみだ。

③ 次年度に向けて

- ・ コロナ禍で生活に制限がある中、アンケートや教育相談等を活用し、子供たちが安心して安全に学校生活を送れるようにしていく。
- ・ 今後も多くの目で子供の様子を把握して指導をしていくとともにカウンセラーの活用も行っていく。

(4) 地域・家庭・学校の連携について

① 保護者記述

- 地域との連携が素晴らしく、自慢できる学校づくりをしていると思う。
- ▲ 秋津小は地域の方たちとの交流が深いところが良いところだと思う。コロナの影響で難しい面もあったと思うが、これからも地域の皆さんとの関わりが続いてほしい。
- ▲ 地域との関わりを今以上に強化していただくと子供たちにとってより豊かな学習、成長環境が作れると思う

② パートナー会議でのご意見

- コロナ禍で多くの学校行事が影響を受け、実施したいことが十分にできない中、教職員が頑張っていることを感じる。地域との関わりが大きく制限され子供たちとのふれあう機会も少なく残念だ。

③ 次年度に向けて

- ・ 地域の方々との連携・協力は秋津小の財産である。制限されることも多い中、地域の方との関係、連携をより強化していきたい。
- ・ コロナ禍で地域の方々とのふれあう機会が減少している中、これまでの地域の方との積み重ねを途切れさせず継承していくようにする。

(5) その他

① 保護者記述

- ▲ 正門から裏門までの道が暗い。灯りをつけることはできないか。

③ 次年度に向けて

- ・ 街灯を増やすことはできない。タイマーで点灯するようになっている。
- ・ 多くの温かいお言葉が寄せられ、教職員一同大変うれしく感じている。御指摘されたことは真摯に受け止め、今後も子供たちによりよい学校運営を行う。